



村の皆さんが弥彦村を守ってください

に言いあてはまる入札内容です。

十日の「合流点」は自分分が書くことと思つた内容ですが、臨時議会の採決に影響すると思ひ止めて

以上は言いません。

きました。十一日の臨時議会内容の報道でなおいつそう不信感をもちました。まず今回の入札内容についてですが、前回の議会で本多啓三が『不可解な入札』と言つたが、本当に摩訶不思議なそれ

問題は十一日の臨時議会報道を見て驚きと同時に連中はまた何をたくらんでいるのかと感じたからです。記事の順不同だが隆峰が『不調に…』と質問したと載っているが、もしかしたら不調に

させてさらに工事を延期させる方向にもつていこうとしたのかと。それ以上敬三が『観光協会が受けるわけにはいかない』と質問した真意は何か。それは『観光協会が受けさせないようになせろぞ』と、感じた次第です。今までの敬三の口からすると十分考えられることです。

春ころの記事だったと思つたが、村長がだれかに『うまくゆくと思つた』と脅されたとあつたように、今後の村行政になんやかんやとケチをつけ妨害することが見え見えの言動と見ました。

なぜ弥彦村のことを気にしているかと言えは自身は弥彦村出身で、敬三のことも知っているからです。どうか村民の皆さん、皆さんの力で弥彦村を変えてください、故郷を守ってください。

村長は気がよすぎる面もありますが、国、県はもちろん、驚くほどの幅広い人脈があり、それを生かした行動力をもつた村長に期待してください。ただだれかには遠く及ばない金脈だけは期待できないが…。その金脈を期待している村民はどれくらいいるのだろうか。まさか観光協会員は？ それはないことを祈るのみである。(友達作戦中の燕市民)